

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『肺 *Mycobacterium avium* complex(マイコバクテリウムアビウムコンプレックス)症治療導入後の病原微生物混合感染の臨床的意義の検討』

研究機関名 東邦大学医療センター 大森 病院

研究責任者 呼吸器内 科 職位・氏名 助教 ト部 尚久

### 【研究の背景および目的】

肺非結核性抗酸菌(NTM)症の患者様は現在世界中で増加しており、重要な問題になっています。本邦においても、肺 NTM 症は 2014 年に肺結核の罹患率を上回りました。NTM の内訳は地域によって異なりますが、本邦では *Mycobacterium avium* complex (MAC) が 90%近くを占めています。肺 MAC 症は治療の効果が限定的であり、治療抵抗性の解明が急がれます。肺 MAC 症は他の病原微生物との混合感染が指摘されていますが、混合感染が肺 MAC 症の治療効果に与える影響は明らかにされていません。

そこで、東邦大学医療センター大森病院呼吸器内科では、当院で加療を行った肺 MAC 症の患者様の臨床経過を解析し、他の病原微生物の混合感染が治療効果に与える影響を明らかにします。

### 【研究対象および方法】

この研究は、(東邦大学医療センター大森 病院) 倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象：2014 年 11 月から 2019 年 2 月に東邦大学医療センター大森病院で治療を受けた肺 MAC 症の患者様を対象と致します。

方法：診療録（カルテ）から抽出した患者様の情報や臨床像、検査データ、画像所見を調査します。患者様の情報は、新たな識別番号を割り当てて匿名化を行います。匿名化された情報は研究責任者がインターネットに接続できないパソコン上に保存し、パソコンは鍵をかけ保管します。今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人情報は一切含まれません。個人を特定できるような情報が外部に漏れることはありません。本研究に関してご質問のある方、診療情報を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

### 【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院

呼吸器センター（内科）

職位・氏名 助教 ト部 尚久

電話 03-3762-4151 内線 6555